評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1470201268
法人名	特定非営利活動法人　介護支援協会
事業所名	グループホーム　よこはま
訪問調査日	平成20年11月26日
評価確定日	平成20年12月24日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん　株式会社フィールズ

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家　族 ＝家族に限定しています。

運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年 12月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	第1470201268号
法人名	特定非営利活動法人　介護支援協会
事業所名	グループホーム　よこはま
所在地	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢南町13－2 （電　話）　045-312-5057

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵠沼橋1－2－4　クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成20年11月26日	評価確定日	平成20年12月24日

【情報提供票より】（平成 20年 10月 24日事務所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成 17年 12月 1日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計　18人		
職員数	16人	常勤 6人	非常勤 10人	常勤換算 13.0人

（2）建物概要

建物構造	（　木造　）造り
	2 階建ての　（ 1）階 ～ （2 ）階部分

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	75,000 円		その他の経費（月額）	73,000 円
敷　　金	有　100,000 円			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有　500,000 円		有りの場合 償却の有無	有　18ヶ月
食材料費	朝食	250 円	昼食	380 円
	夕食	430 円	おやつ	140 円
	または1日当たり　円			

（4）利用者の概要　（10月24日 現在）

利用者人数		18 名	男性	6 名	女性　12 名
要介護1		3 名	要介護2		6 名
要介護3		6 名	要介護4		2 名
要介護5		1 名	要支援2		名
年齢	平均	80 歳	最低	60 歳	最高　90 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	おおもり大塚クリニック

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

横浜市営地下鉄三ツ沢下町駅西口より徒歩10分の近くには高校のある閑静な住宅地に、平成17年12月に開設された新築2階建てのグループホームです。明るく広々とした居間、基準より広い面積の居室を持つバリアフリー構造の建物になっています。

健康管理については、看護師が週4日常駐し、協力医療機関である内科医が24時間何時でも相談に乗って貰える体制が整っています。

スタッフと入居者、入居者同士の会話が弾み明るく楽しい雰囲気が漂っています。開所3年が経過して、地域社会との交流も徐々に増えつつあります。

スタッフ同士の良好なコミュニケーションのもと、入居者にとってより良い施設となるように日々努力しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）** チームで作る入居者本位の介護計画については、スタッフ同士がより良いテームワーク取りながら入居者への最善の関わり方を全員で検討し、ケアプランを作成しています。職員を育てる仕組みは、日々の業務に追われて、未だ十分とは言い難い状況にあります。 **今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）** 自己評価を全職員で約3ヶ月かけて行い、その結果を管理者が取りまとめています。評価の意義・目的はスタッフ全員に周知されています。
重点項目②	**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）** 運営推進会議を開催し、地域の方および家族の意見を伺い、サービスの向上につなげようと努力しています。 また、ホームとして地域に何か協力できる事がないかを模索しています。
重点項目③	**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）** 面会や、ホームのイベント、催し物に家族が来所した折に、意見を伺いその意見を参考に関係職員で討議検討し、運営改善に活かしています。
重点項目④	**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）** 自治会の班長を引き受け、地域の行事に入居者が参加したり、散歩の途中での挨拶やお店で買い物したりし地域との交流を図っています。 近隣の小学校、高等学校、教会などを訪問し、その時々の季節のイベントを楽しみにしています。

2. 評価結果(詳細)

（ ▒ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に、「社会文化を背景とし、地域社会と調和した、より良い介護への挑戦」を掲げています。		
2	2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員が理念を共有して、スタッフ会議などことあるごとに何時も理念に立ち返るよう取り組んでいます。理念の見直し改善を図るべくアンケート調査に着手しています。		
2．地域との支えあい					
3	5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	三ツ沢南町自治会に加入し、昨年から班長を引き受けています。近くの教会の催しに参加したり、近隣の高校、小学校などのイベントに参加しています。		
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員参加のスタッフ会議などを利用し、スタッフ全員で約3ヶ月かけて意見を出しあい自己評価を取りまとめています。具体的な改善策について全職員で話し合っています。		
5	8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、地域の方々および入居者の家族の意見を伺い、入居者へのサービスの向上につなげようと努力しています。また、ホームとして地域にどのような協力ができるか模索しています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区が開催しているグループホーム連絡会、各種講習会に参加しています。 入居者の中に生活保護受給者が含まれている関係で区の担当者とは緊密に連絡を取り合っています。		
4．理念を実践するための体制					
7	14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月会計報告を含め入居者の健康状態や暮らしぶりを報告しています。また、体調に変化が生じた時は、その都度電話で連絡を取っています。		
8	15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内で行われる行事、催し物に、家族に参加していただき、そこでの意見交換の時に不満、苦情を聞くようにしています。 ご意見箱を設置してありますが未だ、これといった苦情は出ていません。		
9	18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの交代は、勤務時間帯が異なる他の担当者がカバーし、入居者に与えるダメージを少なくするように配慮しています。		
5．人材の育成と支援					
10	19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一度のフロアー会議でテーマを決めてミニ研修を行っています。職員を育てる仕組みは、OJT訓練が中心になっています。外部研修の案内を掲示し、スタッフに受講するよう勧めています。	○	職員個人別に教育、育成計画を策定し実施する事が期待されます。
11	20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は連絡会などを通じて地域の同業者と交流はあるものの、一般スタッフの交流は勤務時間との兼ね合いおよび他施設との競合、職員の引き抜きなどの問題もあって実現し難い状況にあります。	○	一般職員の他施設との交流により、当ホームの良い点、他ホームから学ぶ点が見えてくると考えられますので、一般職員の他ホームとの交流が期待されます。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	既存の入居者と一緒に2日間昼食をとるなどして、本人の納得、安心、安らぎを以って入居できるように配慮しています。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員の伴奏で入居者、職員全員で童謡・懐メロを合唱したり、体操、カルタ、百人一首、トランプ、オセロ、囲碁、絵画などその季節季節の遊びを入居者、スタッフの全員が共に楽しんでいます。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居にあたってのアセスメントでは入居者本人の生活歴などをよく聞き取り、希望や意向を把握するように努めています。フェイスシートや申し送りノートを活用しながら一人ひとりに多く語りかけ、表情、会話からも汲み取るようにしています。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居者がより良く生活できるように、本人、家族の意見や提案を反映させながら介護計画を作成しています。定期的なカンファレンスでは、チームで意見交換をしながら最善の介護計画となるように努めています。		
16	37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の体調に変化が生じた場合には、その都度、介護計画の見直しを行っています。見直し後の書類は家族に必ず送付し、同意を得ています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況によって、必要な通院送迎等の支援を行っています。また、隣接した同法人のグループホームとはイベントを一緒に行なうなど連携を図っています。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師が週4日常勤しており、かかりつけ医とは密に連携を取ることが可能です。嘱託医指導のもとに市販以外の常備薬もストックされており、医師指示のもと、早めに処方されています。往診体制も整っており、適切な医療が受けられるように支援しています。		
19	47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には看取りに関する書類が交わされています。本人、家族の同意を得て、医療関係者と十分な話し合いを持ちながら、重度化や終末期に向けた方針の共有化を図っています。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1．その人らしい暮らしの支援** **(1) 一人ひとりの尊重**					
20	50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は一人ひとりの入居者を尊重し、丁寧に接しています。家族的な雰囲気も大切にしていますが、プライバシーを損ねないよう細心の注意を払っています。個人情報に関する書類は事務室で厳重に保管されています。		
21	52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望や意向を第一に優先するように考え、その人のペースに合った暮らしを支援しています。趣味やレクリエーションも楽しみながら、入居者はゆっくりとした時間の中で過ごしています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と入居者は一緒に楽しくお喋りしながら食事を楽しんでいます。それぞれ自分の好みの食器を使い、食事が楽しみごととなるように工夫配慮されています。なかには職員と一緒に準備や後片付けをしている入居者も見受けられます。		
23	57	**○入浴を楽しむことができる支援** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの入浴計画は概ね決まってはいるものの、希望があれば毎日自由に入ることが出来ます。入浴嫌いの方にも職員は工夫を凝らし、誘導しています。また、入居者の仲良し同士が一緒に楽しく入浴しているケースもあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活に張り合いを持って過ごせるように、掃除、食事の後片付け、洗濯ものたたみ等、入居者の能力に合わせて行っています。レクリエーション検討委員会があり、入居者が楽しめるような行事も計画されています。入居者は絵画、碁、オセロ、ダーツ、ゴルフゲーム、編み物、カルタ等思い思いに楽しんでいます。		
25	61	**○日常的な外出支援** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	同法人が運営するもう一つのグループホームの間との通路にはベンチも置かれ、日光浴、外気浴、運動の恰好の場所となっています。又、希望により近所のコンビニエンスストアまで買い物や散歩に出かける入居者もいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	**○鍵をかけないケアの実践** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はフロア入口の鍵はかけておらず、出入りは自由にできます。周辺は坂道も多いために危険防止の観点から、そして防犯上、玄関は一応施錠していますが、外出希望があればすぐに出られるようになっています。		
27	71	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームは傾斜地に建っており、構造上からも災害時には各居室のベランダから外に出られるよう避難経路が確保されています。近々、消防訓練も実施される予定になっています。	○	非常時には町内会の会館に備蓄されている非常食の利用が可能となっていますが、ホーム独自の非常持ち出し品等を準備することが期待されます。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェック一覧表に一日を通じての食事量、水分量が記録されています。給食業者の福祉メニューを採用しており、栄養バランスの取れたものとなっています。水分は一日1500cc摂取を目安にしており、緑茶、ほうじ茶、麦茶、コーヒー、紅茶、ココア、スポーツドリンクがいつでも飲めるように準備されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が一日の大半を過ごすリビング兼食堂は明るく広々としており、居心地の良い空間となっています。廊下やリビングの壁には入居者の描いた絵画、毛糸作品などが飾られています。また、入居者と職員で作成する大きな貼り絵は季節ごとに作られ、四季折々の雰囲気を楽しめるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には作りつけのクローゼット、エアコン、空気清浄機が常備されていますが、使い慣れたベッド、机、たんす等を自由に持ち込んでいます。家族との思い出の写真、調度品なども飾られ、入居者の希望するレイアウトで快適に過ごせるようになっています。		

自己評価票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームよこはま
（ユニット名）	こもれび
所在地（県・市町村名）	横浜市神奈川区三ッ沢南町１３－２
記入者名（管理者）	佐藤　慶子
記入日	平成　20　年　10　月　24　日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	近隣の方達への挨拶、町内行事の見物、近隣学校行事見物、機関紙の発行などを行い、地域の方々に知ってもらう事で、交流を深めて行くきっかけを作るようにしています。		
2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員が理念を共有し、前向きに理念の実践に向けて取り組んでいます。		
3	**○家族や地域への理念の浸透** 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には入所案内で十分な説明を行い、理解して頂いています。また、ケアプラン作成時、変更時において、その旨を面接または郵送にてお伝えし、承諾を得るようにしています。		
2．地域との支えあい				
4	**○隣近所とのつきあい** 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時に、挨拶、コミュニケーションをとるようにしています。	○	引き続き、近隣の方達とコミュニケーションをとりながら、気楽なお付き合いが出来るよう心がけていきます。
5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の一員として自治会に参加、現在班長として会の行事に参加しています。		

項　目			(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居者の認知症の症状に個人差があり、介護支援に追われ、事業所内の業務でいっぱいの状況です。	○	行事への参加、近隣の掃除、独居の高齢者との交流などを計画し、実践していきます。
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ会議を定期的に実践し、改善すべき課題をあげていき、話し合いの中で理解を深めていっています。また、認知症に対する理解を深める勉強会も取り入れています。		
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の皆さんに協力をお願いし、又、ホームとして町内の方々にどのような協力が出来るか、必要かなど話し合っています。	○	ご家族からスタッフへの感謝と、給与をもう少し上げてやって下さいとの意見があり、前向きに取り組んでいきたいと思っています。
9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	神奈川区の催す各種の連絡会及び講習会に参加しています。又、等ホームは生活保護受給者が多いため、様々な連絡事項があり、他のホームより連絡行き来は多い方だと思います。		
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	問題があった場合には、フロア会議などで話し合っています。	○	職員の中でも、権利擁護についての理解度に個人差がある為、話し合いの中で理解を深めていきます。
11	**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日常的に業務の中で話し合いを行なっています。	○	より注意を払い、防止に努めていきます。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4．理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解･納得を図っている	契約書にて十分な説明を行い、ご家族に、理解、納得を図っています。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアマネージャー等が随時声かけをし、利用者の思いを聞き、受け止め、利用者の声となる事で、日々の支援に活かしています。		
14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月々便りを送り、様子を伝え、家族があまり交流を望まない場合においても、感心を持って頂けるよう心がけています。		
15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内で行事が行なわれる際には、ご家族にも参加してもらうなど、共有する時間を提供しています。	○	運営者会議（家族、利用者、職員）の年一度の開催を行なっていきます。
16	**○運営に関する職員意見の反映** 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者運営会議の議事録の開示と伝達を行い、その都度、職員の声を聞き、ホームのより良い運営に反映させています。		
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に微調整を行なっています。	○	現状の人数でやりくりしていますが、余裕がある方が望ましいと考えているので、職員のj確保に前向きに努めていきます。
18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職の際、理由が職場環境にないか、改善の余地はないか、営利を優先していないか、考える機会を設け、利用者への影響がないように心がけています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部よりくる講習の案内を掲示し、時間を見て受講するよう勧めています。	○	スタッフ研修の充実を前向きに行っていきます。
20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勤務と重なり、同業者との交流はなかなか困難な状況です。	○	時間を作り、他のホームの見学などをしていけたらと考えています。
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個々において、話し合いの場を設けています。	○	休憩、夜勤等に配慮した環境作りはもちろんの事、職員の業務しやすい環境も考慮していきたいと思います。
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己啓発については自主的なことで、無資格の介護者も勤務時間外に受講するようしています。ケアマネの受験者も同じです。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者の様子を、職員、看護師等が連携をとって共有し、話し合い、随時受けとめる努力をしています。		
24	**○初期に築く家族との信頼関係** 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族とできる限り連絡をとり、相談にのれるように努力しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	**○初期対応の見極めと支援** 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、家族を含めたサービス担当者会議を開催しています。		
26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	おやつの時間、食事の時間、その他共有する機会を作り、少しずつ馴染めるかを探りながら、サービスの利用に入っていくようにしています。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒にレクリエーションを行って、楽しい時間を過ごしたり、利用者の人生経験、生活歴についての話を聞く事によって、より理解を深め、尊重していくように努めています。		
28	**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との時間を過ごしていただけるように調整しています。		
29	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所によって、より親密になってもらえるように、職員が間に入り、絆を深めるのに役立てるよう心がけています。		
30	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に呼びかけています。	○	訪問者は喜んで受け入れ、本人が訪れたい場所の希望などがあれば家族に協力してもらうようにしていきます。
31	**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	調整をその都度行っています。	○	個々の個性が強い為、日常的には難しい面もありますが、戸外や行事等の機会を増やし、利用者同士が一緒に楽しめる時間を作っていきます。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	**○関係を断ち切らない取り組み** サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後もご家族からの相談を受けたり、暑中見舞いや年賀状、便りの返信を欠かさず行っています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者それぞれの希望、意向を確認し、本人のペースに合わせ日々過ごせるように支援しています。		
34	**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を入所の際によく聞き取り、状況を記録しています。		
35	**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活の流れを記録し、その都度話し合いを行っています。	○	デイサービスの利用等を検討し、情報を収集していきます。
36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者一人ひとりと話をし、希望、意向の確認をし、必要に応じてご家族と連絡をとり、ケアプランを作成しています。		
37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の生活の中で変化が生じた場合、その都度話し合いを行い、ケアプランの見直しを行っています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者それぞれの一日を個別記録に記入し、スタッフ間で報告を共有し、ケアプラン見直しに活かしています。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族に満足していただけるよう心がけ、日々支援をしています。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	**○地域資源との協働** 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近所の図書館へ行き古本などの寄付を頂くこともあります。又、ボランテアの協力を得て催し物をしています。	○	消防署の協力を得て災害の避難訓練をする予定です。
41	**○他のサービスの活用支援** 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	事業者同志のお付き合いが少なく、他のサービス事業者と協力事業を進めることは現在は難しくなっています。		
42	**○地域包括支援センターとの協働** 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括ｾﾝﾀｰとは協働していますが、活用までにはいたっていない現況があります。	○	地域包括ｾﾝﾀｰと協働を続け、情報等を収集していきたいと思います。
43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師が常勤し、かかりつけ医と連携をとり、通院、往診を行っています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	**○認知症の専門医等の受診支援** 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医、看護師、職員が情報を共有し、利用者がより良い受診を受けられるように支援しています。	○	心療内科の良いドクターとの連携を考え、情報を収集し、取組んでいきます。
45	**○看護職との協働** 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が常勤していて健康管理を行っています。	○	引き続き、職員と看護師、医療が連携をとり合い、健康管理を支援していきます。
46	**○早期退院に向けた医療機関との協働** 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院の際には、病院と情報交換をし、連携を取り、退院後も安心して生活に戻れるように支援しています。		
47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族、医療関係者とよく話し合いを持ち、ご本人ご家族にとって、良い方向性を共有しながら考えていっています。		
48	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療と連携をとり、自然死についても対応しています。		
49	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えの際には、ご本人、ご家族、関係者間で十分な話し合いを行い、心のケアに努めています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを尊重し、プライバシーを大切にしています。	○	書類等の整理整頓の為、新たに棚などを用意して、個人情報保護を徹底していきます。
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々のADLに合わせた作業を提供しています。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の趣味に合わせて調節し、支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理容師さんが入り、利用者本人の望みに合った支援を行っています。		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食事が楽しめるように工夫配慮しています。また、準備、片付けも、利用者の状況をみて一緒に行っています。		
55	**○本人の嗜好の支援** 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の望みを出来るだけ尊重し、支援しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	**○気持よい排泄の支援** 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿パターンを記録し、体調を見ながら支援しています。		
57	**○入浴を楽しむことができる支援** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の準備を、職員と一緒にコミュニケーションをとりながら行い、楽しく入浴できるようにしています。		
58	**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間安眠できるように、ホットミルク、くず湯等を体調に合わせて提供しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に合わせ、食器の洗浄(割れない物)、掃除、洗濯物をたたむなど、役割分担をしています。		
60	**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望者には役割分担をして頂いています。		
61	**○日常的な外出支援** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お一人お一人ご希望に添うようには行きませんが、お天気が良い日は散歩など外出を行っています。		
62	**○普段行けない場所への外出支援** 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	誕生日等に希望地へ職員同行で行ったり、気分転換も兼ねて家族と一緒に出かけ、楽しい時間を過ごして頂いています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話については代行を行っています。		
64	**○家族や馴染みの人の訪問支援** 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、または家族に了解を得られた友人、知人を推進して行っています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	**○身体拘束をしないケアの実践** 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束はしないが、必要に応じて家族と相談の上、必要な安全確保の為に、ベット枠等を使用する事もあります。		
66	**○鍵をかけないケアの実践** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	道路に面しているので、1階は、外部からの侵入を防ぐ為の施錠をしています。		
67	**○利用者の安全確認** 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中の見守り、夜間の巡視を行っています。		
68	**○注意の必要な物品の保管・管理** 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な箇所に鍵をつけ、利用者が夜間などに入らないように安全面に気を配っています。		
69	**○事故防止のための取り組み** 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日常の生活の中で、事故を回避するために、職員一人ひとりが責任を持って取り組んでいます。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習会を行っています。	○	年に2度行うように、計画を立てていきます。
71	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会と連携をとるむねを話し合っています。	○	等ホームにおいても、防災訓練を行ったり、防災時における準備を率先して行っていきます。
72	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者一人一人のADLに応じ、家族に連絡をとり、理解を頂いています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	**○体調変化の早期発見と対応** 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員と看護師が連携し、日々の体調の情報を共有しています。また、訪問医による定期的な往診を行っています。		
74	**○服薬支援** 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の服薬については、看護師の指示の下、日時の確認の上行っています。		
75	**○便秘の予防と対応** 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個人の排便状況を記録し、それぞれの症状から、その人に合った予防と対応を行っています。	○	引き続き、体操、散歩、水分補給などを積極的に支援し、便秘の予防、改善に努めていきます。
76	**○口腔内の清潔保持** 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	3食後、必ず、口腔ケアを行っています。 (自身で出来ない利用者については、介助しています。)		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3食の摂取量、水分量(服薬の際も含む)を記録して、一人ひとりの栄養、水分量を管理しています。		
78	**○感染症予防** 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入所前に、予防注射を行っています。また、職員も流行前に、接種を行っています。		
79	**○食材の管理** 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	給食材料の使用、台所使用時の職員の消毒、布きん、まな板、包丁の消毒を、毎日行っています。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**				
80	**○安心して出入りできる玄関まわりの工夫** 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたりして、玄関周りの環境に気をくばっています。		
81	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に合わせた景色の貼り絵などを、利用者と職員が一緒に作成し、リビングや廊下に飾っています。		
82	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに囲みのソファーを置いたり、庭にベンチを置いたりして、語り合いの場を作っています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真など、思い出の品で居室をレイアウトしたり、リネン等も使い慣れた物、湯呑み等も馴染みの物を使うようにしています。		
84	**○換気・空調の配慮** 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇（24時間作動）の設置、稼動を行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下などには手すりを設置し、安全面と残存機能を生かした生活を送っていただけるようにしています。	○	安全面を考えて、手すりの設置されていないところに、新たに設置を行っていきます。
86	**○わかる力を活かした環境づくり** 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの表示、個人居室の表札をかかげ、個性ある部屋作りを工夫しています。	○	利用者の視覚に訴え、理解しやすい動作表示を作っていくようにします。
87	**○建物の外周りや空間の活用** 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑を作って、種まきからの中間プロセスを楽しみ、収穫祭を行ったりしています。		

Ｖ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

[特に力を入れている点・アピールしたい点]
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

良い介護が出来ると云うことはスタッフ同士の連携が大切と考えています。問題が発生した時に、組織として素早く対応に取り組み解決していく事で、利